



南あわじ市ふれあい文化芸能祭

6月25日～7月21日までの間、市地区公民館で「第17回南あわじ市ふれあい文化芸能祭」が開催されました。期間中はカラオケや、舞踊や三味線、和太鼓などの芸能の舞台発表のほか、手工芸や文芸、書道、盆栽、絵画、写真の作品展示があり、訪れた人たちを楽しませていました。



南あわじ市の小中学生に夢を 阿万小学校で「夢プロジェクト」

市内の小中学生に、スポーツや文化の魅力、楽しさ、努力する大切さを学ぶ機会として、著名なスポーツ選手や文化人らを講師に招く「夢プロジェクト」。

6月24日、阿万小学校に元バレーボール日本代表の井上香織さん、バレーボールSVリーグサントリーサンパズ大阪所属の高橋壘選手を招致しました。

講演の中で、高橋選手は「とりあえず、何でも挑戦することが大事。何ができるのかを自分自身で見つけてほしい」と児童らにエールを送り、井上さんは「夢を叶えるために、結果ではなく過程を大切に頑張ってください」と力強く語りました。



児童らに講演する井上さん(左)と高橋さん(右)



美食都市アワード2025授賞式(7月3日・洲本市内)

島全体の食文化振興の取り組みが評価 淡路島が美食都市アワードを受賞

淡路島は、美食都市研究会が主催する「美食都市アワード2025」に選ばれ、7月3日に授賞式が執り行われました。この賞は、地域独自の食文化や食を軸にしたまちづくりの取り組みを評価するもので、今年度は全国46都市の中から淡路島を含む5市が選ばれました。

淡路島は、農産物や海産物が豊富で、食をテーマにしたイベントを定期的で開催していること、さらには淡路島3市と淡路県民局などが協調して「世界一の島の島」を目指した取り組みを行っていることなどが評価され、受賞に繋がりました。

市出身の書家 故森本栖鳳氏の作品を寄付 森本佳世さんに紺綬褒章を伝達

南あわじ市出身の故森本栖鳳氏が残した作品について、故人の子である森本佳世さんから、滝川記念美術館玉青館に譲りたいとの申し出がありました。故人は過去に玉青館で個展を開催したり、作品の寄付を行ったりしたことがあり、市に美術品(額装7点、パネル貼作品1点、計8点)の寄付がありました。

令和7年2月22日の閣議決定により、紺綬褒章受章が決定し、6月23日に市役所で伝達式が行われました。

これらの美術品は今後、玉青館で展示活用していく予定です。



紺綬褒章を授与された森本佳世氏(左)